

1 調査の概要

1 調査の目的

社会変化に対応した青少年健全育成施策を推進するため、家庭及び地域社会における青少年の生活実態や意識の傾向、並びにその保護者の教育的態度や関心について調査し、青少年の健全育成に関する事業の展開に資する。

2 調査内容

(1) 小学生、中学生、高校生の生活実態や意識の調査

1. 家庭生活
2. 大人に対する認識
3. 悩みや心配事
4. 非行
5. スマートフォン・携帯電話等の利用状況
6. インターネットの利用状況
7. フィルタリングに関する認識

(2) 保護者の教育的態度や関心についての調査

1. 家庭生活
2. 地域生活
3. 悩みや心配事
4. 非行
5. 性・暴力の情報
6. 喫煙・飲酒についての考え
7. 子どものスマートフォン・携帯電話等の利用状況
8. 保護者による子どもの管理
9. インターネットに関する保護者の認識

3 調査設計

- (1) 調査地域 新潟県
 (2) 調査対象 小学5年生、中学2年生、高校2年生及びその保護者
 (3) 標本数 3,282人

調査対象者	調査数 (人)		調査対象学校数
	青少年	保護者	
小学5年生	531	531	21校
中学2年生	534	534	17校
高校2年生	576	576	16校
合計	1,641	1,641	
	3,282		

- (4) 調査方法 児童・生徒は、地域的に偏りがないように調査対象校を選定し、その学校に在籍する者とした。保護者は原則として当該児童・生徒の保護者とした。
- (5) 調査期間 平成25年7月1日(月)から7月12日(金)まで
- (6) 記入方法等
 ア 小・中学校、高等学校の児童・生徒は、教室で集団記入。
 イ 保護者は児童・生徒を通じて配布。自宅で記入し、児童・生徒を通じて学校に提出

4 回収結果

調査対象者	調査数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
小学5年生	531	522	98.3%
中学2年生	534	510	95.5%
高校2年生	576	565	98.1%
小計	1,641	1,597	97.3%
小学5年生の保護者	531	515	97.0%
中学2年生の保護者	534	499	93.4%
高校2年生の保護者	576	532	92.4%
小計	1,641	1,546	94.2%
合計	3,282	3,143	95.8%

5 調査実施機関

新潟県福祉保健部児童家庭課

2 調査対象の属性

基本属性

(1)小学生、中学生、高校生

	小学5年生		中学2年生		高校2年生	
	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
① 性別						
男子	268	51.9	266	52.2	285	51.2
女子	248	48.1	241	47.3	272	48.8
②一緒に暮らしている家族						
父	469	89.8	443	87.0	493	87.4
母	512	98.1	501	98.4	543	96.3
兄弟(姉妹)	452	86.8	432	84.9	422	74.8
祖父	209	40.0	159	31.2	169	30.0
祖母	254	48.7	213	41.8	251	44.5
その他	51	9.8	18	3.5	18	3.2

(2)保護者

	小学5年生の保護者		中学2年生の保護者		高校2年生の保護者	
	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)	人数(人)	比率(%)
① 立場						
母親	446	87.3	426	86.4	452	85.9
父親	62	12.1	63	12.8	70	13.3
その他	3	0.6	4	0.8	4	0.8
② 年齢						
29歳以下	5	1.0	0	0.0	0	0.0
30～39歳	227	44.4	117	23.7	40	7.6
40～49歳	261	51.1	339	68.8	385	73.1
50～59歳	16	3.1	33	6.7	99	18.8
60歳以上	2	0.4	4	0.8	3	0.6
③子どもの性別						
男子	263	51.5	257	52.2	271	51.5
女子	248	48.5	235	47.8	255	48.5

